



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和5年5月1日 53号 文責 校長 岩下裕之介

入学式

口石小学校のたくさんの花がきれいに咲いて、春のおとずれを告げています。

新1年生のみなさん、御入学おめでとうございます。みなさんが入学してくることを、ぼくたちは楽しみにしていました。

ぼくも、5年前にみなさんと同じように、ピカピカのランドセルを背負って、お家の人と手をつないで入学しました。今でも忘れられない大切な思い出です。みなさんにとっても、大切な思い出の一日になることと思います。

口石小学校では、お勉強や運動があります。たくさんことができるようになって、うれしいですよ。大変なこともあります、楽しいことがいっぱいあります。

そして、小学校は、優しいお兄さんやお姉さんたちばかりです。困ったことがあったら、いつでも聞いてください。友達をたくさん作って、みんなで楽しく過ごしていきましょう。

これは、入学式での6年生代表児童の言葉です。今年度は3年ぶりに6年生も体育館に入って1年生の入学を一緒にお祝いすることができました。当日は、とても気持ちの良い天気のもと、87名の子どもたちが無事入学し、3クラスでスタートしました。式では緊張した様子の子どもたちでしたが、式が終わり写真撮影の時には、うれしくてワクワクした気持ちが表情から伝わってきました。



また、佐々町から安全帽子・防犯ブザー、江迎地区防犯協会連合会・江迎警察署から反射板、江迎地区交通安全協会、佐々町交通安全母の会より、ノート、定規、ファイルのセットをいただきました。代表の方のお話によると、これらの品々は鹿町の藤護神社でお祓いをしてからもってきてくださっているそうです。地域の方々は、口石小学校の子どもたちが安全且つ元気に登校できることを、心から願ってくださっています。交通安全に気をつけることはもちろんのこと、ぜひ、元気なあいさつで、気持ちを返していきましょう。



授業参観・懇談会

4月26日（水）は、授業参観・懇談会にご参加いただきありがとうございました。子どもたちも本年度最初の授業参観ということで、とても張り切っていました。

また、学級懇談会の冒頭に、私の夢、「**下校の時に、子どもたちの顔が輝く学校**」を創るための2つのポイントについて話をさせていただきました。

一つ目は、授業を充実すること

子どもたちが下校の時、満足いっぱいの顔で、家に帰るのは、自分の成長を自分で自覚した時。その為に必要なのは、やはり**授業の充実**です。

しかし、授業を充実させるためには、**学校だけではできません**。忘れ物をしたり、遅刻したりすると、どうしても気持ちは**マイナスからのスタート**になってしまいます。そこで、**プラスの気持ち**でスタートさせるために、前の日に宿題を終わらせる、忘れ物がないかを確認する。決まった時刻に起き、おいしい朝食を食べ、「今日も元気にがんばってきてね！」と笑顔で送り出してください。そうすれば、**8時10分の学校のスタート**を気持ちよくきれ、「今日もがんばろう！」という気持ちになり、**授業の充実**につながります。ぜひ、ご家庭と学校が協力して、**授業を大切に**する学校文化をつくっていきましょう。

二つ目は、トラブルは成長のチャンスということ

学校には、いろいろな子どもたちが通ってきています。いろいろな人がいるから、**たくさんの人との出会いや楽しみ**があります。

しかし、一方で自分の意見が通らずに納得できずに**トラブル**になることもあります。ですから、人と意見が違うのは当たり前、違いは個性、違いを力にしていってほしいと思っています。

また、トラブルになった時に、**100対0**で相手が悪いということは、ほとんどありません。冷静になれば、相手の言い分や自分の**落ち度**も見えてきます。人生の先輩である保護者のみなさんが、**トラブルは成長のチャンス**という大きな視点で対応していただけたらと思っています。大事なのは、**学校と家庭と地域**が手を取り合って、お互いに信頼しあって、子どもたちを育てていくということです。話し合いをしながら、**コミュニケーション**をとって、やっていきたいと思っています。

最後に、「**校風をつくるのは自分たち**」、その実現の為に「**人を大切にする力**」を、口石小学校に関わる全ての人で育てていきましょうという話をさせていただきました。保護者の皆様には、今年度も口石小学校の「**応援団**」として、学校の教育活動に、ご理解とご協力をお願いします。